



てんびん坊やの飛び出し坊や



「飛び出し坊や」で飛び出し坊やを作ることに、また交通安全啓もう活動も兼ねて、地域の子ども達や保護者も一緒に製作をされてこられました。

「飛び出し坊や」の皆さんは「やっぱり子ども達守らなアカンわな。交通安全対策は県や町、地域が一緒に取り組んで進めていかないとけない」と話してくださいました。

去る、9月30日(月)、日野東部広域農道の柵地先など計4か所に、「飛び出し坊や」が設置されました。日野東部広域農道の柵地先は、交通量も多く、西大路方面から来る車は下り坂になっていることもあり、車のスピードが出やすい道になっています。区内を通る県道も同様に危険な道になっています。児童が通学する横断歩道もあり、「何か起こってからでは遅い。要望だけしてたらアカン。我々も取り組も

う」と、「柵整備プロジェクト」の皆さんを中心に製作に乗り出されました。このプロジェクトは、1年で解決できない地域の課題に対して長期的に取り組むことを目的に2015年に発足。地区の補佐役として、道路河川の改修の要望活動や、「スピード落とせ」の看板の改修など交通安全対策他さまざまな取り組みをされています。今年の5月ごろから地域で話し合いをして、日野のキャラクター「てんびん坊



▲地域の子ども達や保護者も参加して製作

ごみ減量を考える 標語募集



ごみの減量、環境美化意識を高め、3R(※)の推進を呼びかけるため、町では、令和2年度版の「資源・ごみ収集カレンダー」に掲載する標語を募集します。

- ◎応募期間 11月5日(火)から11月29日(金)まで
- ◎応募資格 町内在住、または、町内に通勤通学されている方
- ◎標語の内容 ごみ減量、環境美化、3Rの推進を呼びかけるもの
- ◎選考等 標語の選考は、日野町エコライフ推進協議会で行い、優秀作品には記念品を贈ります
- ◎応募方法 標語は、おおむね20字以内として、住所、氏名、電話番号を記入の上、FAX、メール、はがき、または封書で住民課生活環境交通担当まで応募してください。応募はひとり2作品までです。

◆応募・問い合わせ先

〒529-1698 日野町河原一丁目1番地
住民課 生活環境交通担当(エコライフ推進協議会事務局)
☎0748-5216578 FAX0748-5212003
メール jumjin@town.shiga-hino.g.jp

※3Rとは、

- Reduce(リデュース) ↓物を大切に使う。ごみを減らす。
- Reuse(リユース) ↓繰り返し使う。
- Recycle(リサイクル) ↓再び資源として利用しよう。

県下一斉清掃運動にご参加を!

【とき】11月30日(土)午前9時から
【ところ】国道307号周辺を清掃

(株)ファンケル美健滋養工場駐車場集合

糖尿病の予防に取り組もう

11月14日は世界糖尿病デーです。世界にひろがる糖尿病の脅威に対応するために1991年に制定されました。

世界糖尿病デーのキャンペーンには、青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」が用いられます。日本では、11月14日に各地の著名な建造物をブルーにライトアップされています。世界糖尿病デーを機会に、家族や大切な人と一緒に糖尿病について考え、発症予防・重症化予防に向けた取り組みを始めませんか。

●増え続ける糖尿病

日本では、「糖尿病が強く疑われる人」は、約1千万人と推計され、「糖尿病の可能性を否定できない人」を合わせると、約2千万人です。糖尿病には痛みなどの自覚症状が少ないことから、糖尿病の疑いがありながら治療を受けない人が多数おられます。重症化予防のために早期発見・早期治療が重要です。健診や医療機関で「血糖値が高い」「糖尿病の疑いがある」といわれたら、自覚症状がなくても医療機関を受診しましょう。

●血糖値が続くよじりになるの？

血糖値が高い状態が続くと全身の血管に障害が起き、さまざまな合併症を引き起こします。

- ① **神経障害** 痛みや熱に対する感覚がまひしてしまったり、傷ができても気づきにくくなります。
- ② **網膜症** 適切な眼科的治療を受けないと失明の危険が高まります。

- ③ **腎症** 腎臓がまったく機能しなくなると腎臓移植か人工透析が必要になります。
- ④ **動脈硬化** 進行すると、血液が流れにくくなったり、血のかたまり(血栓)が詰まったりして、虚血性心疾患(心臓病)、脳梗塞(脳卒中)など命にかかわる病気につながります。

●発症・重症化予防のためにできること

- ① 標準体重を維持する。
- ② ゆっくりよくかんで食べる。
- ③ 食事の最初に「野菜」や「海藻」から食べる。
- ④ 水分補給は水かお茶にする。
- ⑤ アルコールをとり過ぎない。1日ビール500ml、日本酒1合まで。(女性はその半分の量)
- ⑥ 定期的に運動をする。
- ⑦ 健診を毎年受けて血糖値をチェックする。

綿向雑感

— 2019年11月 —
日野町長 藤澤 直広

10月12日、日本に襲来した台風19号は、長野県をはじめ東日本、13都府県を中心に大きな災害をもたらしました。大雨特別警報が発令され、

多くの河川の堤防が決壊し、死者行方不明者が100人近くにもなりました。被災者の皆様にも心よりお見舞い申し上げます。曲川や阿武隈川の氾濫によって浸水した地域の映像をみて驚愕しました。「100年に一度」(100年確率)を超える雨量ともいわれています。もし滋賀県にあのような雨が降れば、甚大な被害が発生する可能性は極めて大きいと思います。

日野川の河川改修は50年確率の計画ですが暫定20年確率で河口部から整備が進められています。「100年確率」ともなれば根本から考え直さなければならぬこととなります。日野町を流れる日野川はほとんどが地盤より低いところを流れていますが旧蒲生町に近い部分では堤防もあります。出雲川は、小御門、三十坪地先で平成25年の台

風25号で越水したこともあり、河川を管理する滋賀県と十分に意思疎通を図り対応しなければと思います。なお、大雨が降った時に浸水する場所や浸水の深さを想定した「洪水ハザードマップ」を以前に全戸配布しましたが確認が必要な方は役場にありますのでご覧下さい。

近年、台風の巨大化や集中豪雨など異常な気象の状況は地球温暖化によるものと考えられています。先月、ニューヨークで開催された国連の「気候行動サミット」でスウェーデンの16歳の高校生が各国首脳を前にして「私たちは絶望にさしかかっているのにあなた達が話すのは金のことと永遠の経済成長というおとぎ話だけ。．．あなた達に失望した。しかし若者達はあなた達の裏切り行為に気づき始めている。．．変化が訪れようとしている」と訴え共感が広がりました。この思いをしっかりと受けとめ、自然に畏怖の念をもち環境をこれ以上悪化させないために国際社会がただちに取り組むことが必要です。自然と共生し、人々が幸せに暮らせる地球になるよう力を合わせましょう。

◆問い合わせ先 保健センター

☎0748-5216574